

# 総括質疑



深谷 弘 議員

Q 令和8年度一般会計のキャリアサポート事業について、この事業は令和8年度新規事業であるが、どのような事業なのか。委託料1,162万円が計上されているが、その積算根拠、委託業者の選定について伺う。

A 3年間の事業計画で、仕事と家事・育児との両立をめざす女性が調和をとりながら働けるよう、不安解消や仲間づくり、就労支援に関する取り組みを行うほか、令和9年7月オープンの複合施設に設置する「キャリアサポートステーションしらかわ」開館に向けた準備、開館後の運営業務を行うものである。

委託料については、令和3年度から今年度まで実施してきた女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業で実施してきたセミナー、企業訪問ツアー、インターンシップなどの実績を参考に積算した。受託業者は、企画提案型のプロポーザル方式により、提案された実施回数・時間数、実施時期などを踏まえ協議検討し、選定していきたい。



質疑とは、議会に提出された議案について疑問や不明確な点があるときに説明を求めるもの。提案された議案に関係することしか質問できません。3月定例会では、一般質問（12～15P）と分けて行っています。

## 賛成か反対か



議案に対し賛成か反対か、自ら意見を表明し、その理由等を述べる事が討論です。

### 討論の対象議案

○議案第20号 令和8年度白河市一般会計予算

### 常任委員会の採決

各常任委員会に付託され審議した結果、議案第20号を原案のとおり可決することについて→**全会一致もしくは賛成多数で可決**

## 賛成

### 本会議の討論

## 反対



佐川 琴次 議員

新年度の一般会計当初予算案は、今後、人口減少・高齢化社会において、無理に現状を維持せず、地域機能や行政サービスを戦略的に縮小、効率化することで、持続可能な生活圏の未来を再構築する視点を取り入れつつ、直面する行政課題に的確に対応する予算である。

歳入では、企業の設備投資による固定資産税の伸びなどにより、市税収入を過去最高に見込んでおり、積極的、効果的に国県補助金や基金を活用するなど、必要な財源確保に努められたものと考えている。

また、歳出では、物価高や賃上げに伴い、全般的な経常経費の増加に対応しながらも、互いの個性を尊重しながら地域や人との絆を深め、「私らしく心地よく暮らせるまち」をテーマとして、6つの重点分野に必要な予算をバランス良く盛り込んでいる。これらの施策が、市民一人ひとりがふるさとに誇りを持ち、「住んでよかった」「住み続けたい」と実感できる豊かな未来を築かれるものと期待して、議案第20号令和8年度白河市一般会計予算に賛成する。

深谷 弘 議員

本予算案は、市民の願いや期待に応えたものと評価できない。具体的には、学校給食費無償化を求める世論を背景に、国が令和8年度から実施する「抜本的な負担軽減(いわゆる給食無償化)」方針による給食費負担軽減事業である。これにより、市においては小学校給食費の保護者負担をなくしたことは大変評価すべきものであるが、中学校については国の方針次第で、いつになるか分からない。

学校給食費無償化は、地方自治体の独自施策として全国に広がってきた。私は、市においても小・中学校給食費無償化実施を提案してきたが、「財源の継続的な確保」を理由に実現に至らず。市は国の動向を注視するスタンスをとってきた。

小・中学校無償化に必要な財源は、これまで年間約2億5千万円との答弁があった。今回の国の方針により必要な財源は減少することになる。市財政は、常に80億円超の積立金(余裕財源)がある。「財源の継続的な確保」というなら、市の判断で実現できるのではないかと。